

第53期 報告書

平成27年 1月 1日～
平成27年12月31日

「世の中にない」「真に役立つ」
それが、私たちの研究開発の出発点です。

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 **興研株式会社**

興研は、「クリーン、ヘルス、セーフティ」で、社会に貢献することを目指しています。

「世の中にない」「真に役立つ」ことを旨に、常に新たな技術革新と独創的な製品開発を求め続けています。



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに弊社第53期(平成27年1月1日～平成27年12月31日)の概要等についてご報告申し上げますとともに一言ご挨拶申し上げます。



代表取締役副社長
堀口展也

代表取締役会長
酒井眞一郎
(登記名 眞一)

代表取締役社長
村川 勉

事業が社会情勢に揺らされることは当然で、また思った通り進まないのも当然です。昨年、弊社もその煽りをまともに受けることとなりました。

第一に防衛予算が尖閣問題から大きく海空シフトしたため、防護マスクの調達が大きく縮小したことです。予想はしておりましたが、それを上回る縮小でした。

第二は中国経済の変調が顕わとなったことで、収益好調となった企業も新規投資への態度が厳しいものとなり、クリーンビジネス「KOACH(コーチ)」の受注が前年の2倍にはなったものの期待を下回る4億円に、環境関連事業全体でも8億円に留まってしまいました。

これとは反対に円安効果による造船・自動車の活況に伴いマスクの需要は予想を上回るものとなりました。また、石綿の代替とされていたリフラクトリーセラミックファイバーの有害性が明らかとなり、規制強化のため、マスク、特にブローマスクの需要が一気に拮がったことも1年前には予想することができませんでした。皮肉なことにこれ等の予想外れが重なったことで、売上高は結果として予想通りとなりました。

しかし、こうした想定外に対し、その都度の対応を考

え実行し、その結果の良否は別にしても全社一丸で取り組み、そして乗り切ったことは、興研の企業力の向上に大いに役立ったものと確信しています。

「KOACH」につきましても昨年10月、「ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞」の受賞が決まり受注への手応えが一段と強まっていることを実感し、受注へのアプローチに弾みがついているところです。こうした力は今年以降の企業発展に希望を持たせるものであります。

今、私達は社員の取り組みにわくわくした気持ちで接しています。弊社は昨年より『①人を育てる ②技術を育てる ③クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる』ことを新たな企業目標としてスタートしており、昨年の経験はこの目標に向かって一歩も二歩も前進したと思っております。時に思う通りにいかない局面でも、必ずや道が開け、否、道を切り開くとの確信を持ち、未来に向かって歩み出す所存であります。

株主の皆様におかれましても、興研株式会社の成長を引き続き長い目でご期待頂き、またご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月

営業の概況

当連結会計年度(平成27年1月～12月)における我が国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善が見られる一方で、中国をはじめとする新興国経済の減速等によって世界経済の下振れ傾向が顕れ、景気の先行き不透明感が高まりつつ推移しました。

このような経営環境の中、当期の重要課題であった「グリーン事業の確立」「マスク関連事業の強化」に集中して取り組んだ結果、売上高は前期に対し2億85百万円増の77億85百万円(前期比3.8%増)となりました。

利益につきましては、オープンクリーンシステム「KOACH(コーチ)」やマスク全般の販売増によって稼働率が向上し売上原価率が改善されたこと、並びに全社を挙げた業務の効率化を推進したことによって、営業利益5億26百万円(同42.1%増)、経常利益4億49百万円(同42.5%増)、当期純利益2億37百万円(同60.8%増)となり、それぞれ前期実績を上回りました。

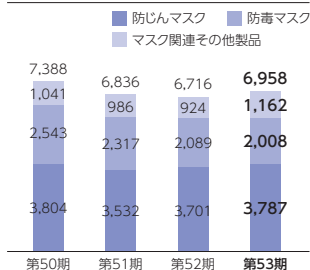
セグメント別の業績は以下の通りです。

マスク関連事業

売上高 **69億58百万円** (前期比3.6%増)

製造業を中心に防じん・防毒マスクの販売は堅調に推移しました。特に電動ファン付き呼吸用保護具「プレスリンク」シリーズは、国家検定化に加え、断熱材として使用されるリフレクトリーセラミックファイバーの取扱い作業等において電動ファン付き呼吸用保護具などの有効な呼吸用保護具の着用が義務付けられたことなどもあり需要が拡大しました。

マスク関連事業売上高 (単位:百万円)



(注) 1. 第52期より、連結決算に移行しております。
2. 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。



電動ファン付き呼吸用保護具「プレスリンク」シリーズ

その他事業 (環境関連事業等を含む)

売上高 **8億27百万円** (前期比5.5%増)

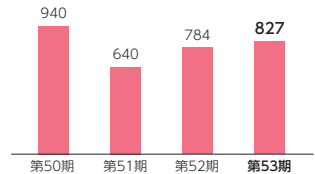
オープンクリーンシステム「KOACH」は、国家プロジェクトである大型低温重力波望遠鏡施設KAGRA(かぐら)のほか、これまでの業種とは異なる自動車、重機、素材・化学メーカー等での採用や既存顧客からのリピート受注も増加し、売上高は前期比80%の伸びを示し、事業全体としても前期を上回りました。

その他事業売上高

(環境関連事業等を含む) (単位:百万円)



オープンクリーンシステム「KOACH」スタンドコーチ



(注) 1. 第52期より、連結決算に移行しております。
2. 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

対処すべき課題

いつの時代にも人類が求めてやまないものは、“安全”と“健康”、そして“環境の豊かさ”です。当社グループは、一貫してその変わらぬ価値を追求し既に産業用マスクではトップメーカーとして揺るぎない地位を確立しておりますが、その地位に甘んじることなく、さらなる業容の拡大、成長を図って参ります。

その実現のために『クリーン、ヘルス、セーフティ』という3つの分野に対し、当社独自技術をもとにこれまで“世の中になかった製品”、“真に役立つ製品”を開発、販売することで、新しい市場を創造し、企業としての発展、成長を目指します。

クリーン クリーン分野における標準技術になることを目指します

オープンクリーンシステム[KOACH]は、全く世界になかった概念でスーパークリーンを作り出す画期的な製品です。誰でも普通の部屋に設置するだけでスーパークリーンを実現できるこの技術は、その独創性、革新性、デザイン性、省エネルギー性、レジリエンス性などがものづくりに携わる様々な機関から高い評価を得て、「ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞」をはじめ数々の賞を受賞しています。

当社グループは、「KOACH」が作り出すスーパークリーン（最高水準の清浄度）とアクチュアルクリーン（実際の作業時の清浄度）でクリーンの市場を革新しようとしています。



オープンクリーンシステム
[KOACH]テーブルコーチ

ヘルス 課題の解決と新事業の展開を図ります

全自動内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍」は、ご使用されたほぼ100%の医療機関で、二度と手離せない機器とのご満足を頂いており、こうした高い評価を後ろ楯とした営業を今後も継続し普及拡大を図ります。

使い捨て式マスク「ハイラック」シリーズは、その感染対策の性能の高さが認められ、全国の7割の保健所、5割の感染症指定医療機関で採用されています。そして同シリーズの販売拡大を図るため、一般消費者用の「ハイラックNeo」・「ハイラックKIDS」シリーズの販売を行っています。また、パンデミック対策として個人隔離が行える感染症患者専用タイプ「うつさんぞ」の周知にも努めて参ります。

高い抗菌作用、防カビ性、抗ウイルス性を持ち合わせながら、生体安全性が高く、環境にも優しい銅系抗菌剤「イマディーズ®」を開発いたしました。今後はその特長を生かせる分野を模索しながら、新しい事業として展開を図って参ります。



ハイラックNeo

セーフティ 真に役立つ活動を行っていきます

呼吸器系疾病から身を守るマスクとして、顔とのフィットの重要性を訴える啓発活動を10年以上にわたって続けております。シリコン面体マスク、フィットチェッカー内蔵マスク、FFリップ付き使い捨て式マスク、プレスリンクブローマスク等々、高フィットで防護性能が高いマスクを普及させるために、私たちはこれまで34万人を超える方々にマスクフィッティング測定サービスをご体験頂いております。全国の方々に「マスクはフィットしていなければ、全く役に立たない」ことを認知して頂くための本活動をこれからも続けて参ります。

鳥インフルエンザ、エボラ出血熱、火山噴火、地震などによるパンデミックやエマージェンシー対策としてのマスクの必要性を関係機関に訴え、備蓄、装着訓練の実施を推奨しています。

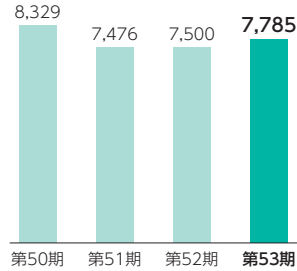


フィッティング測定

財務ハイライト

売上高

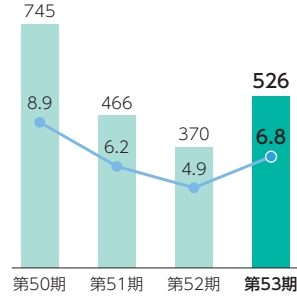
(単位:百万円)



営業利益／営業利益率

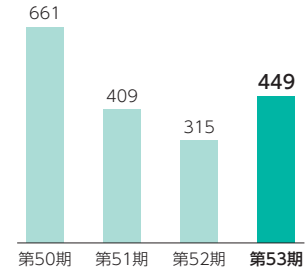
(単位:百万円/%)

■ 営業利益 ◆ 営業利益率



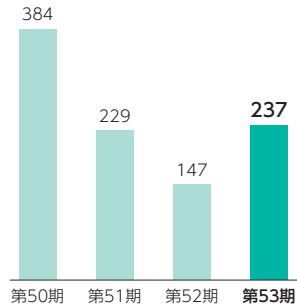
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

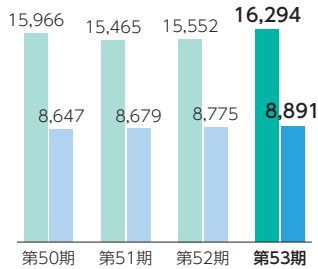
(単位:百万円)



総資産／純資産

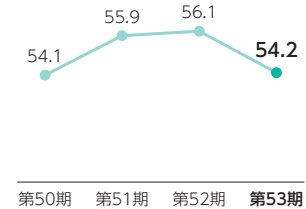
(単位:百万円)

■ 総資産 ■ 純資産



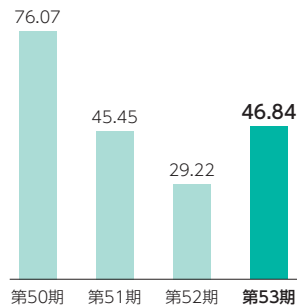
自己資本比率

(単位:%)



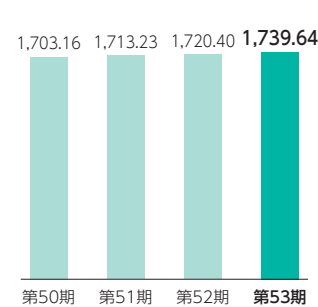
1株当たり当期純利益

(単位:円)



1株当たり純資産額

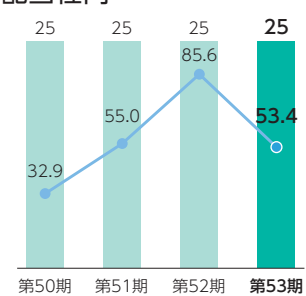
(単位:円)



1株当たり配当金／配当性向

(単位:円/%)

■ 1株当たり配当金 ◆ 配当性向



(注) 1. 第52期より、連結決算に移行しております。
2. 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第53期 平成27年12月31日現在	第52期 平成26年12月31日現在
【資産の部】		
流動資産	6,772	6,733
固定資産	9,522	8,819
① 資産合計	16,294	15,552
【負債の部】		
流動負債	3,656	3,654
固定負債	3,746	3,122
② 負債合計	7,403	6,777
【純資産の部】		
株主資本	8,787	8,669
資本金	674	674
資本剰余金	527	527
利益剰余金	7,626	7,525
自己株式	△40	△58
その他の包括利益累計額	42	48
新株予約権	60	57
③ 純資産合計	8,891	8,775
負債・純資産合計	16,294	15,552

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第53期 平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで	第52期 平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで
売上高	7,785	7,500
売上原価	4,241	4,183
売上総利益	3,544	3,317
販売費及び一般管理費	3,018	2,947
営業利益	526	370
営業外収益	26	29
営業外費用	103	84
経常利益	449	315
特別損失	0	3
税金等調整前当期純利益	449	312
法人税、住民税及び事業税	183	129
法人税等調整額	28	35
当期純利益	237	147

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第53期 平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで	第52期 平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	707	687
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,217	△597
財務活動によるキャッシュ・フロー	382	△238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△134	△143
現金及び現金同等物の期首残高	1,911	1,652
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	402
現金及び現金同等物の期末残高	1,777	1,911

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

財政のポイント

- Point1 資産** 資産合計が前連結会計年度末に比べ7億42百万円増加した主な要因は、埼玉県飯能市の土地を独立行政法人都市再生機構から取得したことによる土地の増加等で、有形固定資産が7億40百万円増加したことによるものです。
- Point2 負債** 負債合計が前連結会計年度末に比べ6億25百万円増加した主な要因は、固定負債が長期借入金増加等により6億24百万円増加したことによるものです。
- Point3 純資産** 純資産合計が前連結会計年度末に比べ1億16百万円増加した主な要因は、利益剰余金が1億1百万円増加したことによるものです。その結果、自己資本比率は54.2%(前連結会計年度末56.1%)となりました。



オープンクリーンシステム「KOACH」の開発者が “第6回ものづくり日本大賞(製品・技術開発部門)内閣総理大臣賞”を受賞

第6回ものづくり日本大賞において、「KOACH」を開発した当社の技術者が「ISOクラス1フィルタと整流機構で実現した省エネルギースーパークリーンシステム」を開発したことに對し、内閣総理大臣賞が授与されました。

今回「KOACH」は、開放空間であっても①短時間 ②低コスト ③低消費電力 ④スーパークリーンを実現し、既に中小・中堅企業から最先端の研究機関まで多くの実績があること、それは従来のクリーンルームの常識を覆しただけでなく、我が国の産業、科学技術分野に大きな変革と新たな可能性をもたらす製品開発であると高いご評価を頂きました。



首相官邸で開催されたものづくり日本大賞 授与式(平成27年11月9日)

スリープモード付きオープンクリーンシステム「KOACH」フロアーコーチEzp

第35回(平成26年度)優秀省エネルギー機器表彰
日本機械工業連合会 会長賞 受賞

従来型クリーンルームの約1/3の消費電力で運転が可能なフロアーコーチEzpは、スリープ機能を使用することで内部の清浄度を維持したまま、通常運転時の約30%の電力量で運転ができます。

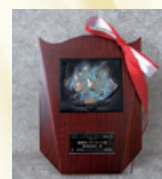
こうした省エネルギーで運用できる新しい概念のクリーンルームの開発、実用化を通して、当社がエネルギーの効率的利用の促進に貢献していることが認められての受賞です。



第1回ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2015
ものづくり分野 最優秀レジリエンス賞 受賞

フロアーコーチEzpは、平常時には低消費電力での運用が可能です。また、シンプルな構造であるため、“震災時の被害を最小限”に抑えることができます。

この特長は、防災・減災への効果が高く、有事を見越したクリーンルームとして運用することができるということから、政府が進めている国土強靱化(ナショナルレジリエンス)計画を実現するシステムと評価され受賞に至りました。



国家検定に合格した 電動ファン付き呼吸用保護具 「ブレスリンク」シリーズを発売

電動ファン付き呼吸用保護具は、粉じん環境で使用するろ過式呼吸用保護具用の中で最も防護性が高いマスクとして位置付けられ、平成26年11月には厚生労働省の国家検定制度が実施されました。それに合わせ当社では、検定品の「ブレスリンク」シリーズを発売しました。



海外生産子会社 SIAM KOKEN LTD. 「ハイラック」シリーズの生産を開始

販売が拡大している使い捨て式マスク「ハイラック」シリーズの新たな製造拠点として、タイに生産子会社 SIAM KOKEN LTD.を設立しました。同シリーズの米国検定を取得後、平成27年6月より製造を開始し、順調な操業を続けています。

日本とタイとではインフルエンザの流行のピークが異なるためパンデミック時におけるマスクメーカーの供給責任を果たすという点からも同社は重要な拠点と位置付けられています。



会社情報 (平成27年12月31日現在)

会社概要

商号 興研株式会社 (英文社名)KOKEN LTD.
創業 1943年(昭和18年)5月10日
設立 1963年(昭和38年)12月12日
資本金 674,265,291円
本社所在地 東京都千代田区四番町7番地
従業員数 265名(うち当社215名)
上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQスタンダード
事業内容 防じんマスク、防毒マスクなどの労働安全衛生
保護具及び環境関連機器・設備の製造、販売

株式の状況

発行可能株式総数……………20,000,000株
発行済株式の総数……………5,104,003株
株主数……………2,778名
大株主(上位5名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
酒井真一	656,000	12.92
酒井宏之	624,400	12.30
公益財団法人酒井CHS振興財団	400,000	7.88
(株)りそな銀行	244,300	4.81
酒井香織	229,600	4.52

(注)持株比率は、発行済株式の総数(5,104,003株)から自己株式数(27,747株)を控除した株式数(5,076,256株)を基準に算出し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

株主優待制度のご案内

当社では、株主様の日頃からのご支援に対し、「株主優待制度」を導入しております。本制度は単なる物質的な株主還元だけではなく、株主様への安全、安心のご提供を目的としています。ぜひご利用ください。

▶ ご優待内容

当社製品の優先購入ができる『優先購入券(KOKEN 安全・安心チケット)』を保有株式数、保有年数に応じて贈呈。

▶ 対象となる株主様

毎年6月末日現在の株主名簿に記録されている1年以上かつ1,000株以上ご所有の株主様。

※「優先購入券(KOKEN 安全・安心チケット)1年間有効」には、100%割引と30%割引の2種類がありそれぞれ購入の上限数を設定しております。

▶ ご優待品



感染対策用マスク
[ハイラック]シリーズ



火災・特殊災害避難用マスク
[ライフマスター]



優先購入ができる製品類

株主優待に関するお問い合わせ先

TEL : 03-5276-1932 FAX : 03-5276-6530 e-mail : ir@koken-ltd.co.jp

当社広報・IR室までお問い合わせください。

役員 (平成28年3月29日現在)

代表取締役会長 酒井真一 常勤監査役 小山悦男
代表取締役社長 村川勉 常勤監査役 秋山俊雄
代表取締役副社長 堀口展也 監査役 階戸照雄
専務取締役 村松光二 監査役 白日光
専務取締役 田中文和
常務取締役 井端秀明 常務執行役員 齊藤雄司
取締役 長坂利明 執行役員 伊藤善博
取締役相談役 酒井宏之 執行役員 木村一志

事業所・グループ会社

本社/東京
研究所/飯能
KOKEN スーパークリーンテクニカルセンター/埼玉
テクノヤード/狭山、群馬、所沢、中井、嵐山
配送センター/埼玉
営業所/全国16カ所
KOACHショールーム/東京、名古屋、大阪、九州
連結子会社 SIAM KOKEN LTD./タイ王国チョンブリ県

「世の中にない」「真に役立つ」が、私たちの研究開発の出発点

「世の中にない」「真に役立つ」を研究開発の出発点とし、“大きい企業”ではなく、規模の拡大はゆっくりであっても、世界にない、当社にしかできない「オンリーワン」「ナンバーワン」の技術・製品をもつ“強い企業”＝「技術立社」になることが私たちの目標です。この特集では、興研の研究開発についてご紹介いたします。

一般消費者用マスク「ハイラックKIDS」・「ハイラックNeo」シリーズの開発

● 一般の方々にもフィット性の高いマスクを使って頂くために ●

開発の経緯

鳥インフルエンザ・MERS等の新興感染症や中国からのPM2.5など、一般市民の健康を害する新たな事象が発生する度に、医療や産業の現場で使われているプロ仕様のマスクとともに高性能をうたうマスクに注目が集まります。しかし実際にウイルスやPM2.5等から身を守るためには高いフィルタ性能と高いフィット性能を合わせ持つ“本当の意味での高性能マスク”でなければ、高い効果は望めません。

そこで当社は、そうした事実を広く伝えるとともに、マスクで一般市民の方々の健康や命を守ることを目的に、医療、産業のプロが認めた高いフィルタ性能、高いフィット性能を持つマスク「ハイラック」シリーズをベースとして一般消費者用マスク「ハイラックKIDS」シリーズと「ハイラックNeo」シリーズの開発を行いました。



子ども用感染症対策マスク
「ハイラックKIDSかからんぞ」



マスクの特長

- ①フィットを良好に保つ構造、サイズ(KIDS・Neo共通)
長さ調節機構の「耳かけひも」と顔と接する部分に立体構造の「FFリップ」を採用し、子ども、小顔、普通サイズを選ぶことで、高フィットを保ちます。
- ②高性能フィルタを採用(KIDS・Neo共通)
国家検定DS2や米国検定N95に合格した「ハイラック350型」と同等のフィルタを使用しています。
- ③用途に合わせて3種類を用意(KIDS・Neo共通)
 - ・KIDS・Neo：標準タイプ
 - ・KIDS・Neoかからんぞ：呼吸を楽にする排気弁付き
 - ・KIDS・Neoうっさんぞ：感染症患者専用
- ④子どもを科学した設計(KIDS)
3Dスキャナーや呼吸サンプリング装置等によるデータ解析から、子どもの顔、呼吸に最適な設計を行いました。



FFリップ



感染症患者専用マスク
「ハイラックNeoうっさんぞ」



VOICE

開発に携わって

国内で新型インフルエンザ感染者が確認されると、「感染対策用のマスクはありますか?」「どこで購入できますか?」といった感染の恐怖から子どもを守りたいお母さんからの問い合わせが急増しました。

マスクで子どもを含めより多くの人々の健康や命を守ることが当社の社会的使命であるとの考えのもと、一般消費者用マスク開発の指示が出され、特に健康被害を受けやすい子ども用を優先し製品化を行いました。

子ども用は世界的にも規格が存在しておらず設計には時間を要しましたが、子どもの小さな顔にもフィットすることと使いやすさについてはこだわりました(「ハイラックKIDS」シリーズ)。その後成人用もラインナップに加えています(「ハイラックNeo」シリーズ)。

今後も一般市民の方々に使いやすく、健康管理に役立つ製品開発を続けていきます。

マーケティング本部
ライフセーフティディビジョン
技術開発セクション

株主メモ

- 事業年度 1月1日～12月31日
定時株主総会 3月
基準日 12月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同上
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (JASDAQ)
公告の方法 当社ホームページに掲載
<http://www.koken-ltd.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由にて電子公告が行えない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。（お問い合わせ先）
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・連絡先 0120-232-711 (フリーダイヤル)
・ホームページ <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>
・電話による用紙請求（24時間自動音声応答サービス）
0120-244-479 (フリーダイヤル)
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で
お支払いいたします。

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 **興研株式会社**

〒102-8459 東京都千代田区四番町7番地

ホームページのご案内

当社のホームページから最新の会社情報や決算短信など詳細なIR情報がご覧頂けます。ぜひご活用ください。

<http://www.koken-ltd.co.jp/>



トップページ



IR情報サイト

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせ頂くため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセス頂き、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7963

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答頂いた方の中から
抽選で薄謝（図書カード500円）
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media（イー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させて頂き、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00～17:30)
[e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。